

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (神石高原町立神石小学校)

- ① 教科等 国語科 ② 学年 第3学年
- ③ 単元名 せつめいのしかたを考えて、食べ物のひみつブックをつくろう
- ④ 単元の目標 「すがたをかえる大豆」で学習した事例の挙げ方を使って、説明の仕方を工夫して食べ物のひみつブックを書くことができる。
- ⑤ 本時の目標
 (8/16時) 筆者は、「中」の5つの事例をどんな順番で書いているのか考えることを通して、説明の仕方の工夫を見つけることができる。
 (15/16時) 調べた食べ物について、学習した書き方を生かして、説明する文章を書くことができる。
- ⑥ 学習の流れ (8時間目・15時間目/全16時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>【第8時】</p> <p>1 本時の課題を示し、予想する。</p> <p>「中」の5つの事例は、どうしてこのじゅんばんにしたのだろう。</p> <p>2 「中」の部分を読み取る。</p> <p>3 「中」の5つの事例を図に書き(ワークシート)、筆者は、どんな順番で書いているのか考える。</p> <p>4 どんな順番で書いているのかを話し合う。</p> <p>【第15時】</p> <p>1 本時の課題を示し、学習方法を理解する。</p> <p>ワークシートをもとに、順番に気を付けて説明文を書こう。</p>	<p>指導上の留意事項</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>板書記録</p> </div> <p>コミュニケーションの記録</p> <p>T どんな順番で書いているでしょう。</p> <p>C に豆やいり豆など作り方が簡単なものからの順番。</p> <p>C ③④⑤は簡単で、⑥は時間がかかって作り方が難しい。</p> <p>C に豆やいり豆は簡単だけど、きな粉は少し難しい。豆腐や醤油や味噌は大切など、それだけを使って違う食べ物になっている。</p>	<p>・事例の挙げ方や説明の仕方の工夫を見つけることができる。〔読む能力〕(ワークシート、発言)</p>
<p>2 自分の選んだ食材についてワークシートをもとに説明文を書く。</p>	<p>言語活動の充実</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>児童の作ったワークシート</p> </div> <p>児童の作文 「すがたをかえるたまご」</p> <p>たまごは、いろいろな食品にすがたをかえています。</p> <p>まず、生のまま食べることができます。あたたかいごはんを生たまごとしょうゆをかけてまぜて食べます。とてもおいしいです。</p> <p>次に、ゆでて食べるゆでたまごがあります。なべにたまごと水を入れて十分くらいゆでるとかたまってゆでたまごになります。(中略)</p> <p>さらに、油とすで作る調味料です。それは、マヨネーズです。作り方は、黄みとすとしおと調味料と油をまぜ合わせて作ります。野菜などにかけて食べると野菜がおいしくなります。(中略)</p> <p>このように、たまごはいろいろな食品にすがたをかえているのです。</p>	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 収集した資料を効果的に使い、説明する文章を書くという単元を貫く言語活動を設定し、目的を達成するため、順序性を中心にした段落相互の関係を捉えることができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 単元を貫く言語活動を児童に分かりやすく示し、単元のゴールをイメージ化させる工夫をする。
- 読解場面での要約手法を使って、説明する文章の構成ができるようにする。
- 資料となる図書等を単元導入以前からできるだけ多く用意しておく。